

いずみ学級 生活単元学習 学習指導案

会 場 いずみ学級1組、2組、4組

授業者 武田 直嗣 中津川 泰生

星川 のぞみ 大森 愛

単元名

「めざせ！ えいようはかせ！ ～エイ!エイ!ヨー!～」

1 本時の目標

栄養バランスや好みを考えて、先生にとっての「最高のお弁当」を作ることができる。

2 本時で重視する ESD の視点に立った能力・態度

【③多面的・総合的に考える力】

3 本時の展開

時間	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	◇指導上の留意点 □資料 ☆評価【観点】
導入	○先生が作ったお弁当を見て、考えをもつ。 ・バランスが悪い！ ・えねるんばかりだからだめ！	◇先生が作ったお弁当をモニターに提示したり、拡大コピーしたものを提示したりする。
展開	「最高のお弁当」を考えよう。	
	○二人一組で先生にとっての「最高のお弁当」を作る。 ・バランスがよくないとだめだね。 ・先生の好きな食べ物は何だろう？ ○二人一組で作ったお弁当を共有する。 ・バランスがよいから。 ・先生に聞いたら、魚よりも肉が好きって言っていたから。	◇複数のお弁当を用意し、どの先生のお弁当を改善するか選べるようにする。 ◇どのおかずを入れるか悩んでいる姿が見られたら、直接各先生にインタビューしてもよいことを伝える。 ◇お弁当を作ることが難しいペアには、教師や介助員が仲介に入る。 ☆先生たちのお弁当を改善し、栄養バランスや好みを考えてお弁当を作ることができる。【思・判・表】 ◇必要に応じて「なぜそのおかずを選んだのか」を聞く。
まとめ	○「最高のお弁当」について考える。 ・黄色、赤、緑のバランスがよい。 ・美味しく食べられる。 ・好きなものも入っている。	◇次回は自分たちにとっての最高のお弁当を作ること伝え、次時への見通しをもつ。

